

研究室彙報

眞宗學研究室

○五月二十九日(木)午後三時(於第一教室)第一回例會

講師及講題「念佛信仰の實踐的性格」 稻葉(秀)教授

出席者、安井・可西・日下・舟橋・禿・自見諸教授、桑谷助手、本多・長尾兩幹事、大幸・雨森兩副手以下學生二十數名

○六月十三日(金)午後三時(於第一教室)第二回例會

講師及講題「聖德太子の一大乗教」 安井教授

出席者、可西・日野・山口(光)・自見諸教授、増田學生監、桑谷助手、大幸・雨森兩副手以下學生三十數名

○六月十五日(日) 見學旅行

光明寺・三鈷寺・善峰寺・長法寺・乙訓寺

參加者、可西・桑谷兩教授、大幸幹事、大幸・雨森兩副手、

以下學生約十名雨天のため參加者僅少

佛教學研究室

大乘佛教學會 印度佛教學會

○例會

日時 六月二十七日(金)第十一教室

研究室彙報

講師 泉教授

演題 十王經に就て

出席者 山口益・舟橋・山田教授、多田副手、學生約二十五名。

尚、山口教授より御自著「無と有との對論」に就いての貴重なる御感想を承る事が出来、盛會であつた。

◇佛教史學會

○大阪城見學 四月十八日午後

大阪市主催の展覽會を見學 顯如上人、教如上人に關する古文書並びに肖像を見る。

參加者、日下教授以下學生七名

○新入會員歡迎會 五月十三日午後四時より森永茶店にて

日下・松本・道端・藤島の諸教授、新入會員七名、二三回生六名 計十七名の出席を得近來稀なる盛會なり、日下主任教授の御話、引續き自己紹介を行ひ、和氣滿堂のうちに六時散會す。

○春季見學旅行 六月十三日

見學箇所 榮山寺、宇智川の磨崖、根來山、大徳法院

六月十四日

見學箇所 鸞森別院、妙慶寺、粉河寺

參加者 日下教授 學生九名

○例會七月一日 午後三時より第十一教室に於て

日下教授より「説符の種々相」を聞く、引續いて九月以後に於

ける本學會の行事等に就き歡談す。出席者 學生十名。
(那須記)

人文學第一研究室

◇國史學會

○新入會員歡迎會 五月九日(金)午後六時 於矢尾政
新入會員 廣端正明、木全豐、大谷壽、小笠原龍城、山田正
英、川崎信曉、本田廣、五辻聖道、山下戒典、大藤久二男、
菊池祐恭、松谷外卿、佐々木哲
出席者 藤島・土居兩教授、室殿虎男、井上彰淳、柏原祐泉、
柏樹滿、宇治谷義雄、太田賢、松本義照諸先輩、學生三十名
德重教授御病氣の爲缺席されしも藤島、土井教授の史學に對
する態度先輩室殿氏の挨拶あり和氣霽々の中に一夕を過ごせ
り。

○例會 五月二十三日午後一時 於第七教室

講師藤島教授 演題「石清水八幡宮神應寺等に就て」

出席者 柏樹・柏原兩先輩外學生二十三名

○委員會 五月二十三日(金)午後三時 於第七教室

會名變更、會費増徴の二件を議し會則の改制をなす事に決す
出席者 藤島教授、柏原・柏樹兩先輩、間下・近松・朝倉・
鹽井・菊池・小笠原諸君

○史蹟踏査 五月二十五日(日)

石清水八幡宮、神應寺、正法寺、八角院、松華堂を見學す。

參加者 藤島教授、柏原先輩、間下・中村・朝倉・鹽井・菊
池・五辻・廣端諸君

○委員會 六月五日午後三時 於第八教室

出席者 德重・藤島兩教授、間下・朝倉・鹽井・小笠原・菊
池諸君

委員の手にて改制せられし國史研究會會則の原案に就き、審
議し二三字句の修正を見たる後異議なく可決直ちに實施する
事となれり。

○史蹟踏査 六月十五日(日)

北野神社、等持院、龍安寺、仁和寺、天龍寺等見學。

參加者 德重教授指導、藤島教授、柏原先輩、外學生十三名

○例會 六月二十六日(木)午後三時 於第八教室

講師德重教授

出席者 德重教授外學生十六名

○長途史蹟見學旅行 七月一日より五日間

指導德重教授、藤島教授、朝倉・竹井・中村・丹羽・奥村・
玉井・大野・橘・鹽井・川崎・本田諸君、三重和歌山方面に
旅行す。

第一日 津の西來寺・結城神社・本居翁舊宅・内宮外宮

第二日 神宮文庫・徵古館

第三日 熊野速玉神社・青岸渡寺、那智神社

第四日 道成寺・施無畏寺

第五日 紀三井寺・竈山神社・日前、國懸神社・鷺森別院、
直ちに解散す。

第四日目にて徳重教授所用の爲歸洛せられしも極めて收獲多き旅行たりき。

○旅行報告會 九月十八日午後三時 於第八教室

一、會計報告並感想

朝倉 憲

二、西來寺、結城神社

川崎 信 憲

三、本居翁舊宅

本 田 廣

四、神宮文庫、徵古館

奥村 喜久男

五、速玉神社

大野 俊 成

六、青岸渡寺、那智神社

橘 次 郎

七、道 成 寺

竹 井 一 實

八、施無畏寺、紀三井寺

玉 井 康 之

九、日前、國懸神社等

鹽 井 孝 順

出席者 徳重・藤島兩教授、柏原先輩、外學生十三名
後六時より三鳥亭にて懇親會を開催す。

哲學研究室

◇宗教學々會

時 十月七日(火) 午後六時より

所 於 二條寺町 鑑 屋

出席者 杉平先生、大塚先生、學生十一名

日野先生の御後任として來られた大塚節治先生の歡迎會を兼ねて第一回學會を開く。大塚先生を中心に主として基督教信仰について、又同教團の現在の狀態、對社會的運動の様子

研究室彙報

最後に辯證法神學の特長と其の意義等に就いて各々語らひ九時此の會を終る。尙毎週木曜夜七時より鈴木先生御宅にて常會を開く事になる。(補記)

大谷學會々則

第一條

本會ハ大谷學會ト稱シ、事務所ヲ大谷學内ニ置ク

第二條

本會ハ大谷大學樹立ノ精神ニ基キ佛教學、哲學史、史學及ヒ文學ニ關スル諸般ノ研究ヲナスヲ目的トス

第三條

本會ノ會員ハ(甲)大谷大學ノ專任教授職員、研究科並ニ學部學生(乙)大谷大學ノ屬託教職員、豫科專門部學生

第四條

本會ハ左ノ事業ヲ行フ
(一)會員ハ希望ニヨリテ(甲)會員タルコトヲ得

第五條

本會ハ左ノ役員ヲ置ク
一、會長 大谷大學々長ヲ推ス
二、理事 大谷大學々監ヲ以テ任ス
三、委員 若干名會長ノ指名トシ、任期ヲ二ケ年トス
四、職員 職責左ノ如シ
一、會長ハ本會ヲ代表シ委員會ヲ總理ス
二、理事ハ會長ヲ補佐ス
三、委員ハ本會ノ諸事業ヲ企劃シ實行ス
四、會計トシテ甲會員ハ年額金五圓乙會員ハ年額金參圓ヲ納ムルモノトス

第六條

本會則ハ委員ノ決議ニアラサレハ變更スルヲ得ス
一、本會ハ佛教研究會ヲ繼承ス
二、各研究室關係ノ學會ハ本會ニ屬スルモノトス
三、本會則ハ昭和十七年一月ヨリ實施ス

第七條

本會則ハ昭和十七年一月ヨリ實施ス

第八條

本會則ハ昭和十七年一月ヨリ實施ス

以上